

2. 個別事業の内容について

(1) 公益目的事業について

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容	当該事業の 事業比率(%)
公 1	中部広域圏における産業の活性化及び地域整備に関わる調査研究、政策提言及び普及啓発等を実施する事業	70.3

[1] 事業の概要について (注1)

(1) 趣旨(目的)・まとめた理由

中部広域圏の将来図を国民経済的視野のもとに確立することにより、中部広域圏、さらには我が国経済社会の健全な発展、より良い社会形成に寄与することを目指す。

(2) 事業

【事業内容】

中部広域圏における産業の活性化及び地域整備に関わる時宜に適ったテーマを選定した上で研究者・資金・有識者からなる研究会の設置等を決定し、当財団のもとで調査研究を行い、その成果に基づいた政策提言・普及啓発活動を実施している。現在、中部圏の将来像、今後注目すべき産業分野、中部圏の航空・空港に関する現状と課題などのテーマに取り組んでいる。

また、調査研究を実施する際の研究・分析ツールともなる中部圏地域間産業連関表やマクロ計量モデルの開発およびそれらを活用した応用研究なども行っている。

当年度は、下記の調査研究および政策提言・普及啓発活動を実施した。

《調査研究》

- ア. 中部圏景気動向指数の算出と公表
- イ. 中部圏内総生産の早期推計および予測
- ウ. 中部圏経済の実証分析の実施
- エ. 中部圏地域間産業連関表の作成
- オ. 都市・産業集積の変化から見た東京一極集中是正のあり方に関する調査研究
- カ. 中山間地域の持続可能なまちづくり・活性化に関する調査研究
- キ. 「中部圏のスマート農業」に関する調査研究
- ク. 中部地域の自治体におけるマイクログリッド導入効果に関する調査研究
- ケ. 中部国際空港における複数滑走路の実現に向けた調査研究
- コ. 中部プロジェクトマップの作製
- サ. その他調査・研究

《政策提言・普及啓発》

ア. 講演会・シンポジウム

- ・研究報告会・第60回定例講演会（2024年2月16日）【参加者：53名（うちWEB27名）】

開催地：TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口7階およびWEB配信

テーマ：＜研究報告会＞

「中部圏多部門マクロ計量モデルによるアジア・アジパラ大会開催後の
中部圏経済の先行き予想」

＜定例講演会＞

アジア・アジパラ大会開テーマ講演

「私たちの挑戦」、「一度きりの人生どうせだったら楽しもう」

- ・航空・空港講演会（2024年3月26日）【参加者：82名（うちWEB110名）】

開催地：中部国際空港内セントレアホールおよびWeb配信

テーマ：新しいフェーズに向けた中部国際空港のあり方

- ・スマート農業シンポジウム（2023年11月20日）【参加者：109名（うちWEB77名）】

開催地：ミッドランドホールおよびWEB配信

テーマ：中部圏農業の未来 ～今日までの10年と明日からの10年～

イ. 調査季報「中部圏研究」

会員をはじめ広く一般に向けて、当財団の調査・研究成果をはじめとした活動成果、主催講演会・シンポジウムの
など講演録に加え、時宜に応じた外部執筆者による寄稿などを掲載し、年4回（6・9・12・3月）発行した。

ウ. 航空・空港関係情報収集・提供

「中部広域圏空港要覧（2023年度版）」を当財団のホームページに公表した。また、航空・空港に関するシンポジ
ウムやセミナーなどへの参加を通して情報を収集し、適宜、関係者へ提供した。

【公表方法】

調査研究結果については、報告書等の作成・頒布、当財団の発行する調査季報への掲載・頒布、公開シンポジウム
の開催、ホームページでの情報掲載等の方法により、広く社会一般に公表している。

（3）財源等

基本財産運用益、賛助会費、寄付金収入、助成金、補助金、受託収入および負担金を財源とする。

なお、財団法人中部空港調査会（平成23年3月31日解散）から引き継いだ航空・空港に関する調査研究事業、
中部圏景気動向指数の開発・応用および中部圏の社会・経済に関する諸課題の実証分析の実施に関する事業について
は、各々これらの事業に用途を特定した引当資産を財源としている。

（4）業務委託

調査研究事業の実施にあたり、基礎データの収集や整理など必要な場合は補助的な業務を一部委託している。委託
にあたっては、調査方針・実施計画の策定だけでなく、実施プロセスにおいても、当財団がその都度必要な指示を行
っている。

注1 事業の概要の欄では、事業の実施のための財源、必要となる財産を含めて記載してください。また、事業の重要な部分を委託して
いる場合には、その委託部分ができるように記載してください。